

エコアクション21 環境経営レポート

(2023年9月1日～2024年8月31日)



2024年 12月26日発行
株式会社 神奈川商会

環境経営レポート 目録

1.	組織の概要	P.3
2.	対象範囲	P.3
3.	環境管理体制	P.4
4.	環境経営方針	P.5
5.	(基準年の環境負荷と)環境経営目標	P.6
6.	環境経営計画の内容	P.7
7.	環境経営計画、環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価	P.8
8.	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.9
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.10
10.	代表者による全体の評価と見直しの結果	P.11

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 神奈川商会

代表取締役 藤森 政幸

(2) 所在地

本 社: 神奈川県川崎市幸区大宮町24

横浜営業所: 神奈川県横浜市港北区師岡町438-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 藤森 政幸

担当者 星野 知美

連絡先 電話 044-544-7877 FAX 044-544-6975

e-mail hoshino@kanagawa-shokai.co.jp

(4) 事業活動の内容

防水工事・建築工事

(5) 事業の規模

(2023年9月～2024年8月)

受注件数(件)	46件
売上高(百万円)	662百万円
従業員数(人)	本社7人 横浜営業所3人
延床面積(m ²)	合計188m ² 本社 159m ² 横浜営業所 29m ²

2. 対象範囲

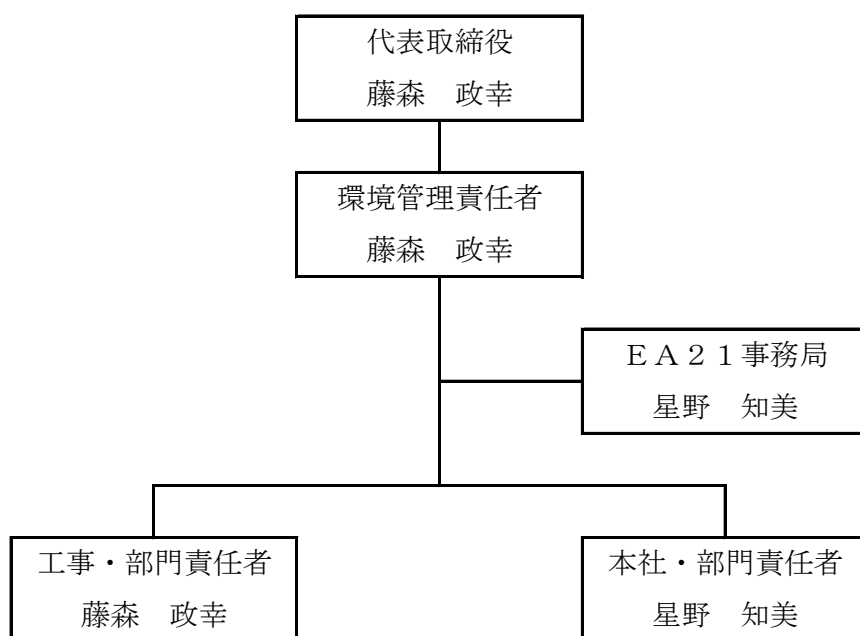
(1) 認証・登録対象組織

本社、横浜営業所

(2) 認証・登録対象活動

防水工事、外壁改修工事

3. 環境管理体制



役職	責任及び権限
代表取締役	1、環境管理責任者の任命 2、経営における課題とチャンスの明確化 3、環境方針の制定 4、環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 5、環境経営システムの定期的見直しの実施 6、社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1、環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2、代表への環境経営システムの実施状況報告 3、推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4、それぞれの業務、役割に応じ、必要な教育、訓練を適切に計画、実施 5、関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6、環境関連文書及び記録の作成、整理
部門責任者	1、環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2、環境上の緊急事態への準備及び対応
従業員	1、環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する

株式会社神奈川商会環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識して環境経営に取り組み、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮した行動をすることにより、低炭素社会の実現及び、循環型社会の実現を目指すとともに、次世代への継承に貢献します。

環境経営方針

1 環境経営システムを効果的に運用して環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。

2 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めるとともに、次の活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。

- (1) 電気、ガソリン等の省エネルギーを推進し、二酸化炭素の排出量を削減します。
- (2) 分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルによる資源化を推進します。
- (3) 適正使用による節水を推進し、総排水量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の適切な管理を行います。
- (5) 環境に配慮した材料を増やします。

3 この環境方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2021年6月1日 制定

2023年9月1日 改訂

株式会社 神奈川商会
代表取締役 藤森 政幸

5. (基準年の環境負荷と)環境経営目標

環境目標	項目	基準年 (実績)	年度目標	中期目標	
		(2022/09/01～ 2023/08/31)	(2023/09/01～ 2024/08/31)	(2024/09/01～ 2025/08/31)	(2025/09/01～ 2026/08/31)
			1%削減 リサイクル率・水性材 料は1%増	2%削減 リサイクル率・水性材 料は2%増	3%削減 リサイクル率・水性材 料は3%増
1. 二酸化炭素排出量削減	CO2総量 (Kg-CO2)	36,541	36,176	35,810	35,445
①電力使用量の削減	電力使用量 (本社) (kwh)	8,628	8,542	8,455	8,369
②ガソリン使用量の削減	ガソリン 使用量 (本社・営業所) (L)	13,693	13,556	13,419	13,282
③軽油使用量の削減	軽油使用量 (営業所・建設現 場)(L)	609	603	597	591
2. 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排 出量(袋)	96	95	94	93
3. 水使用量の維持管理	水の使用量	124	124	124	124
4. 化学物質使用量の管理	化学物質 使用量(Kg)	2,926	適切な管理を 行う	適切な管理を 行う	適切な管理を 行う
5. 産業廃棄物リサイクル率 向上	リサイクル率 (%)	89.9	90.8	91.7	92.6
6. 環境に配慮した材料の増 加	水性材料の使 用量(Kg)	16,188	16,350	16,512	16,674

※CO2排出係数は、本社0.364Kg-CO2

6. 環境経営計画の内容

1. 二酸化炭素排出量削減

(1) 電気使用量の削減

- ① 使用していない照明やパソコンを消すことによる電力使用量の抑制
- ② 冷暖房の温度の設定管理とエアコンの清掃

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ① 燃料効率の良い速度で運転
- ② 高率の良い配車計画による車利用
- ③ アイドリングストップ
- ④ 適正な空気圧の保持
- ⑤ 適正な車両の整備

2. 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物の分別の徹底
- ② コピー用紙の裏紙利用

3. 水使用量の削減

- ① 節水意識の喚起
- ② 保管量の確認
- ③ 特定化学物質の削減

4. 化学物質使用量の適切な管理

- ① 使用量の把握
- ② 保管量の確認
- ③ 特定化学物質の削減

5. 産業廃棄物リサイクル率の向上

- ① 分別を徹底している産廃業者の選別を行う。
- ② マニフェストの発行

5. 環境に配慮した材料の増加

- ① 水性材料を増やす

7. 環境経営計画、環境経営目標の実績、取組結果とその評価

環境活動計画	取組結果とその評価(2023年9月～2024年8月)			
	環境目標	実績	達成区分	環境経営計画の取組み評価
1. 二酸化炭素削減 kg-CO ₂	36,176 kg-CO ₂	35,401 kg-CO ₂	○	
①電力使用量の削減 ・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底	8,541 kWh	7,719 kWh	○	・不使用機器電源OFFの徹底した結果、目標達成。
② ガソリン使用量の削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・運転者教育の実施	13,556 L	13,488 L	○	・エコドライブの徹底したことにより、目標達成。
③ 軽油使用量の削減 ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・運転者教育の実施	603 L	479 L	○	・エコドライブの徹底したことにより、目標達成。
2. 廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底 ・排出量の測定 ・コピー用紙の裏紙使用	95 袋	95 袋	○	・コピー用紙の裏紙を利用したことにより、廃棄物が減少できた。
3. 水使用量の維持管理 ・節水意識の喚起 ・節水表示板の設置	124 m ³	104 m ³	○	・節水を心掛け適切な管理を行った。
4. 化学物質使用量の管理 ・使用量の把握 ・保管量の確認 ・特定化学物質の削減	適切な 管理を行う	適切な 管理を行った	○	・使用量及び保管材料を適切に管理した。
5. 産業廃棄物リサイクル率の向上 ・分別を徹底している産廃業者の選別 ・マニフェストの発行	90.8 %	86.9 %	×	・廃棄物の分別を心掛けたが、目標達成できなかった。 ・今後もリサイクルを徹底する。
6. 環境に配慮した材料を増やす ・水性材料を増やす	16,350 kg	15,936 kg	×	・環境対応の材料を積極的に使用したが、目標達成できなかった。

○: 目標達成、×: 目標未達

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標	環境経営目標及び環境経営計画(2024年9月～2025年8月)			
	基準値 (2023年9月～ 2024年8月) 実績値	環境目標 (2024年9月～ 2025年8月) 1%削減	担当者	次年度の取組内容
1.二酸化炭素 排出量削減	35,401 kg-co ₂	35,047 kg-co ₂	星野	
① 電力使用量の削減	7,719 kWh	7,642 kWh	星野	・エアコンの温度管理 ・消灯の徹底 ・不使用機器電源OFFの徹底
② ガソリン使用量の 削減	13,488 L	13,353 L	星野	・運転者教育の実施を再度行う ・エコドライブの徹底 ・車両の点検整備の徹底
③ 軽油使用量の削減	479 L	474 L	星野	・運転者教育の実施を再度行う ・エコドライブの徹底 ・車両の点検整備の徹底
2. 廃棄物排出量削減	95 袋	94 袋	星野	・排出量把握の徹底を図る。 ・コピー用紙の裏紙使用 ・分別廃棄の徹底
3. 水使用量の維持管理	124 m ³	124 m ³	星野	・節水表示板の設置 ・節水意識の喚起 ・漏水のチェック
4. 化学物質使用量の 管理	適切な管理を行う	適切な管理を行う	星野	・使用量の把握 ・保管量の確認 ・特定化学物質の削減
5. 産業廃棄物リサイクル率の向上	86.9 %	1%増 87.8 %	星野	・廃棄物分別の徹底 ・マニフェストの確実な発行 ・現場パトロールの強化
6. 環境に配慮した材料を増やす	15,936 kg	1%増 16,095 kg	星野	・水性材料を増やす

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

承認	確認者
藤森	星野

適用環境関連 法規等	適用される事項(施設、物質、事業 活動等)	確認	確認日
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理、産業廃棄物(金属クズ、廃油等の適正処理)マニフェストの交付	○	2024年 12月 12日
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理	—	2024年 12月 12日
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の適正処理	—	2024年 12月 12日
建設リサイクル法	特定建設資材リサイクル	—	2024年 12月 12日
PRTR法	第一種指定化学物質等の取扱量の把握	—	2024年 12月 12日
消防法 火災予防条例	少量危険物の貯蔵・取扱いの基準	—	2024年 12月 12日
自動車NOx・ PM法	使用車両の窒素酸化物、排出基準に適合	○	2024年 12月 12日
石綿障害予防法 大気汚染防止法	石綿含有物の処理・処分方法	○	2024年 12月 12日

— 期間中非該当

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 二酸化炭素削減

電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量の低減項目のすべてにおいて目標を達成することが出来た。従業員の二酸化炭素削減への取り組みは概ね実施できており、今後は稼働率が高まっても結果を残せるよう更なる意識改革を進めていく。

1-① 電力使用量の削減

エアコンの温度管理の徹底により目標を達成できている。今後は更なる削減に向け努力する。

1-② ガソリン使用量の削減

エコドライブの徹底により目標を達成できている。今後は更なる削減に向け努力する。

1-③ 軽油使用量の削減

エコドライブの徹底により目標を達成できている。今後は更なる削減に向け努力する。

2. 廃棄物排出量の削減

コピー用紙の裏側を再利用したことにより目標を達成できている。今後は更なる削減に向け努力する。

3. 水使用量の維持管理

節水を心掛け、水使用量の維持管理を行った。今後も使用量の管理を行う。

4. 化学物質使用量の適正管理

使用量及び保管材料の管理を適切に行った。また、化学物質使用の材料から、環境に配慮した材料への移行を引き続き行っていく。

5. 産業廃棄物リサイクル率の向上

廃棄物の分別を心掛けたが、目標達成できなかった。今後は削減に向け努力する。

6. 環境に配慮した材料を増やす

環境対応の材料を積極的に使用したが、目標達成できなかった。今後は資源化に向け努力する。

全体

全ての目標達成は出来なかったが、環境活動においては概ね実施できていた。しかし、目標未達成の分野においては更なる改善と創意工夫が必要である。

今後は結果が残るよう一人ひとりが目標達成に向け努力する。